

学習内容報告書 フォーマット

学校名	日南市立南郷中学校
授業者	齋藤 秀一

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

港の町南郷を知る活動（日本農業遺産「かつお一本釣り漁業」を学ぶ・調理実習）

1-2. 学年

1 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 学校の行事

1-4. 単元の概要

- ・ 日本農業遺産に登録された「かつお一本釣り漁業」を題材にして、地域の基幹産業である漁業についての理解を深めるとともに、「かつお一本釣り漁業」に携わる人たちの思いや努力を知る学習。
- ・ 「かつお」を食材とした漁師飯づくりの調理体験を通して、食の大切さや地域の食に関する伝統を学ぶ学習。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

漁業が盛んな地域に生まれた育った生徒が多いが、地域の産業や産業に携わる人たちの生活を知る機会は少なく、知識に乏しい生徒が多い。地域の基幹産業である漁業の歴史や現在の置かれている現状を知る活動を通して、地域の良さを知ると共に、漁業や海に携わる仕事や生活により関心をもつ機会にすることをねらいとしている。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 様々な情報から大切な地域を学び取る力を高め、その学んだ知識を様々な媒体を通して整理し、表現する力を育成する。
- ・ 地域に生きる人たちの生き方から学び、自分のこれからの進路や生き方について積極的に考えようとする態度と姿勢を育成する。

1-7. 単元の展開（全3時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	港の町南郷を知る活動 日本農業遺産「かつお一本釣り漁業」を学ぶ・調理実習（7 / 14・15） ①日程説明を聞く	・ 事前に朝の会等で、講師の方へのあいさつ、話を聞く態度などについて指導を行った。

② 日本農業遺産「かつお一本釣り漁業」についての講話を聞く。

- ・ 目井津漁港職員の方から
- ・ 栄松公民館長（元かつお漁船船長）から



【講話の様子】

③ 漁師飯・郷土の料理づくりを体験する。



【かつおさばき体験の様子】

④ 漁師飯・郷土の料理を実食する。



【実食時の様子】

⑤ 片付けをして、お礼のことばを述べる。

・ 講師の方が日本農業遺産「かつお一本釣り漁業」に関するDVDと大画面テレビを使って概要を説明し、説明を行った。

・ 現在の目井津漁港の様子や日本の漁業について説明を行った。

・ 講師の方の話を、しっかりとした態度で聞くことができた。

・ 「かつお一本釣り漁業」や南郷の漁業についての疑問に思うことなどを質問することができた。

・ 最後にしっかりとお礼のことばを伝えることができた。

・ 包丁などの取り扱いに注意して、体験を進めるように指導した。

・ 地域教育コーディネーターの方を中心に、地域ボランティアの方が班に一人ずつ付き、生徒の活動を支援していただいた。

・ 慣れない手つきの生徒が多かったが、積極的にかつおさばきに挑戦する姿があった。

・ 班ごとに作業台を整理させ、かつお飯、つみれ汁の実食を行えるよう指導した。

・ 自分たちの手によって調理された料理を、味わって食べる様子が見られた。

・ 協力して片付けを行うように指導した。

・ 積極的に協力して片付けを行い、ボランティアの方々にお礼を伝えることができた。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 3 時間中の 2, 3 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・ 日本農業遺産「かつお一本釣り漁業」に関する知識と関心を高め、食を通して地域を知ろうとする主体的な態度を養う。
- ・ 体験を通して、生徒同士や教師、地域の人との触れ合いを深め、望ましい人間関係を醸成し、感動や協調性、成就感、忍耐力など豊かな心を育む。
- ・ 体験を通して、ふるさと南郷の自然のすばらしさを体感させ、よりよい環境やふるさとをつくっていかうとする態度や意識を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 講師からかつおのさばき方の手順についての説明を聞き、注意点などを確認する。 →真剣な態度で話を聞き、注意点と手順の確認を行うことができた。</p>  <p style="text-align: center;">【かつおのさばき方説明時の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に注意をうながしながら、講師の話を一緒に聞き、内容を生徒共に確認した。 ・ 講師の話をしっかりと聞くことができたか。 (観察)
<p>2 班に分かれて、かつおさばき体験をする。 →慣れない手つきではあったが、どの生徒もかつおに触れ、かつおさばきに挑戦することができた。</p>  <p style="text-align: center;">【かつおさばき体験の様子①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班に1人ずつの地域ボランティアの方と共に生徒の活動を見守った。 ・ 作業が苦手な生徒や滞りがちな生徒には、積極的な支援を行った。 ・ 積極的にかつおさばき体験に取り組めたか。 (観察) ・ 班員と協力したり、教え合ったりしながら、かつおさばき体験活動に取り組めたか。 (観察)



【かつおさばき体験の様子②】

3 調理したものを実食する。

→さばいたかつおを元に調理した、かつおのづけをのせたかつお飯とかつおのつみれ汁を、班ごとに食した。



【かつおのづけを使ったかつお飯】



【料理を食べている生徒】

4 片付けを行い、お礼のあいさつをする。

→片付けの方法をしっかりと確認しながら、班のメンバーで協力しながら片付けを行った。

→代表生徒がお礼のことばを述べ、全員で感謝の気持ちを伝えることができた。

- 班ごとに調理したものを一人一人が同じように食することができるように配慮した。
- 生魚が苦手な生徒には、かつおのから揚げを用意して対応した。
- 調理したものを味わって食することができたか。

(観察)

- 手順を守り、責任をもって片付けができるように指導する。
- 自分たちの班で使用した場所やものを中心に、責任をもって片付けをすることができたか。(観察)
- 講師の方や地域ボランティアの方に感謝のことばをしっかりと伝えることができたか。(観察)

3. 今回の活動の自己評価

- ・ コロナ禍の中、活動の実施が心配されたが、地域の漁業関係者や地域コーディネーターと地域ボランティアの方々の協力を得て、計画的に実施することができた。
- ・ 日本農業遺産に認定された「かつお一本釣り漁業」について、その歴史や詳しい内容、認定に至る経緯など様々な理解を深める貴重な機会になった。また、実際に調理し、食することで、地域の豊かな恵みを改めて実感すると共に、自分の食に対する意識を見つめなおす良い機会になった。
- ・ 「かつお一本釣り漁業」に関する様々な学習と体験を通して、地域の良さを大切にし、更に発展させていこうと活動している方々の思いや生き方に触れ、感謝の気持ちをもつと共に、自分の生き方や将来の目標について考えることができる機会になった。

4. 今後の課題

- ・ 他の体験活動と同じように、その時だけの貴重な体験だけで終わってしまわないように次の学びにつなげていく工夫が必要である。事後指導や、それ以外の学習に広げていく取組が欠かせない。また、地域コーディネーターを中心に地域ボランティアの方々の協力が欠かせない活動であるので、継続していくためには、連携の仕方など実施におけるノウハウをしっかりと引き継いでいかなければならない。魚そのものや生魚を苦手にする生徒も少なくはないので、苦手意識を上手く調節しながら体験することができる工夫が必要になる。また、生魚を扱うため、衛生面には十二分な配慮と注意が必要である。日本農業遺産「かつお一本釣り漁業」は、これからも地域の活性化や伝統を守るための大切な財産であるため、どのような関わり方ができるのかを主体的に考え、行動できる生徒を育てていけるような学びに高めていく必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ 特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。